

令和6年度予算政府案について、概算の変更に伴い「令和6年度予算フレーム」が以下のとおりとなっております（下線部が変更箇所）。

令和6年度予算フレーム

新（令和6年1月16日閣議決定）				旧（令和5年12月22日閣議決定）			
【歳出・歳入の状況】				【歳出・歳入の状況】			
（単位：億円）				（単位：億円）			
	5年度予算 （当初）	6年度予算	5' → 6'		5年度予算 （当初）	6年度予算	5' → 6'
（歳出）				（歳出）			
一般歳出	727,317	<u>677,764</u>	<u>△ 49,554</u>	一般歳出	727,317	672,764	△ 54,554
社会保障関係費以外	308,630	<u>290,571</u>	<u>△ 18,060</u>	社会保障関係費以外	308,630	285,571	△ 23,060
計	1,143,812	<u>1,125,717</u>	<u>△ 18,095</u>	計	1,143,812	1,120,717	△ 23,095
<p>（注3）6年度予算の一般予備費は、令和6年能登半島地震の復旧・復興のフェーズ等に応じ切れ目なく機動的な対応が可能となるよう5年度予算から5,000億円増額して1兆円を計上。</p>							
<p>（注4）「原油価格・物価高騰対策及び賃上げ促進環境整備対応予備費」の5年度予算（当初）の額は、「新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策予備費」及び「ウクライナ情勢経済緊急対応予備費」の合計額。</p>				<p>（注3）「原油価格・物価高騰対策及び賃上げ促進環境整備対応予備費」の5年度予算（当初）の額は、「新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策予備費」及び「ウクライナ情勢経済緊急対応予備費」の合計額。</p>			
<p>（注5）税金には印紙収入を含む。</p>				<p>（注4）税金には印紙収入を含む。</p>			
<p>（注6）公債金の分類は基礎的財政収支や財政収支の観点から行ったものであり、公債金による収入が直ちに債務償還費や利払費に充当されることを意味するものではないことから、「相当分」としている。</p>				<p>（注5）公債金の分類は基礎的財政収支や財政収支の観点から行ったものであり、公債金による収入が直ちに債務償還費や利払費に充当されることを意味するものではないことから、「相当分」としている。</p>			

【歳出・歳入の状況】

	5年度予算 (当初)	6年度予算	
			5' → 6'
(歳入)			
公債金(歳出と税収等との差額)	356,230	<u>354,490</u>	<u>△ 1,740</u>
政策的支出による赤字相当分(基礎的財政収支赤字)	107,613	<u>88,163</u>	<u>△ 19,450</u>
計	1,143,812	<u>1,125,717</u>	<u>△ 18,095</u>

(歳入備考欄)

- 公債依存度 31.5%
- 建設公債 令5：6兆5,580億円 → 令6：6兆5,790億円
特例公債 令5：29兆650億円 → 令6：28兆8,700億円
- 財政収支赤字(利払費相当分と政策的支出による赤字相当分の公債金の合計)は、18.5兆円。

【歳出・歳入の状況】

	5年度予算 (当初)	6年度予算	
			5' → 6'
(歳入)			
公債金(歳出と税収等との差額)	356,230	349,490	△ 6,740
政策的支出による赤字相当分(基礎的財政収支赤字)	107,613	83,163	△ 24,450
計	1,143,812	1,120,717	△ 23,095

(歳入備考欄)

- 公債依存度 31.2%
- 建設公債 令5：6兆5,580億円 → 令6：6兆5,790億円
特例公債 令5：29兆650億円 → 令6：28兆3,700億円
- 財政収支赤字(利払費相当分と政策的支出による赤字相当分の公債金の合計)は、18.0兆円。

【普通国債残高等の状況】

	5年度末見込み (5年度当初予算 ベース)	6年度末見込み (6年度予算ベース)	
			5' → 6'
(参考) 国債発行 予定額	193.8	<u>172.0</u>	<u>△21.8</u>
うち一般会計に おける発行額	35.6	<u>35.4</u>	<u>△0.2</u>

(備考欄)

○ 財政収支赤字 18.5兆円程度
前倒債の増 19.5兆円程度

【普通国債残高等の状況】

	5年度末見込み (5年度当初予算 ベース)	6年度末見込み (6年度予算ベース)	
			5' → 6'
(参考) 国債発行 予定額	193.8	171.5	△22.3
うち一般会計に おける発行額	35.6	34.9	△0.7

(備考欄)

○ 財政収支赤字 18.0兆円程度
前倒債の増 20.0兆円程度